

# 「大地の恵と海の幸」 を最大限に活かす

中泊町長  
濱館 豊光



新年あけましておめでとうござい  
ます。

町民の皆様には、新春を晴々しい気  
持ちでお迎えのこととお慶び申し上げ  
ます。また、平素より町政の推進に対  
し温かいご支援を賜り、深く感謝申し  
上げます。

いよいよ今年は、新しい年号に生ま  
れ変わります。どんな名称になるのか、  
私も興味津々ですが、まずは、年号変  
更に伴うシステム改修などしっかり対  
応し、町民の皆様にご不便をかけない  
ように準備していきます。そして、平  
成の30年間は、情報を取り巻く社会が  
大きく変化し、パソコン、インターネ  
ット、スマートフォン、SNSなど情  
報通信技術が飛躍的に進歩した時代で  
あったと感じているところです。

これからは、AI(人工知能)、I O  
T(モノのインターネット)など世の中  
の仕組みが、さらに変化を繰り返して、  
私達の生活に大きく影響してくると思  
います。新しい情報をより早くキャッ  
チし、変化を恐れず前進していく気構  
えが私たちには必要なのではないでし  
ょうか。

昨年来、私はその気構えをもって、  
町基本計画及び実施計画に掲げた新事  
業をはじめ、様々な取り組みにチャレ  
ンジさせていただきました。

一次産業の収入アップ対策に向けて  
は、高収益作物を取り入れた農業を見  
据え、役場前の試験ほ場でさくらんぼ  
「ジュノハート」などの試験栽培を開  
始しました。また、将来の農業のあり  
方として、新プランづくりを進めてい  
ます。漁業では、企業版ふるさと納税  
を活用した「マツカワガレイ」の試験  
養殖など、つくり育てる漁業の導入を  
目指して動き出しました。そのほか、  
メバルによるまちおこしとして、メバ  
ル料理グランプリの開催、学校給食へ  
メバルの提供、「メバルせんべい」開  
発など新たに行っています。

大きな課題である人口減少対策では、  
下前・折戸地区に県内初の集落支援員  
を配置し、地域の皆様と話し合いを続  
けた結果、折戸地区に自主防災組織が  
立ち上がることに繋がりました。また、  
青森県が推進する「青森県型地域共生  
社会」の実現に向けたモデル事業とし  
て、「買い物弱者」支援や高齢者の見  
守りサービスをセットにした実証実験  
をスタートさせました。

一方、昨年は全国各地で大規模災害  
が発生し、そんな世相を反映して清水  
寺で発表される今年の漢字には「災」  
が選ばれました。町では被災者を支援  
する目的に、北海道胆振東部地震で大  
きな被害を受けた厚真町の避難所運営

に、職員1名を派遣しました。現場で  
培ったノウハウは、町防災マニュアル  
等の見直しに役立てていきます。いつ  
起きてもおかしくない大災害へ備えて、  
準備を加速させているところです。

そして現在、町長に就任して2回目  
となる新年度予算案の編成に向けて、  
作業を進めています。本来の目的であ  
る「何のため」の事業なのか、これま  
での効果・検証をしっかりと踏まえなが  
ら予算案を練り上げていきます。また、  
人口減少が加速する時代に対応した行  
政のあり方として、効率化・スリム化  
とともに、これまで以上に広域的な事  
務処理が必要になります。各市町村と  
はお互いの強みをうまく活用できるよ  
うな協力体制を築いていかなければな  
らないと考えています。

「大地の恵と海の幸」をキャッチフ  
レーズに、豊富な町の資源を最大限に  
活用しながら、一次産業でしっかりと  
食べていける持続可能なまち、町民の  
皆様が安心して暮らせるまちを  
目指し、スピード感をもって日々の公  
務に取り組んで参ります。今後とも町  
政運営に対しまして、ご理解とご協力  
をお願い申し上げます。

年頭にあたり、皆様のご健勝とご多  
幸を心からお祈りし、新年のご挨拶と  
いたします。

# 町政発展に 向けて



中泊町議会議長  
兵庫 桂 藏



新年あけましておめでとございます。皆様方には、平素から議会に對しまして格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年の日本は、台風や豪雨、地震など数多くの自然災害に見舞われました。被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げますとともに、本年が天候に恵まれ平穏な年となりますことを願うばかりです。

さて、町議会では、昨年の6月下旬に地方の厳しい現状を認識していただくため、国会議員事務所を訪問し、県選出国會議員に對し、「小型クロマグロ漁獲規制に係る漁業者及び漁業協同組合への支援」・「青森県西海岸洋上風力発電事業について」の2件について、国関係機関に強く働きかけていただくよう要望書を提出いたしました。

そして、少子化の進展による担い手不足問題の一助になればと考え、我が町にも多く在籍しているベトナム社会主義共和国の実習生送り先機関や職業訓練学校、農業大学等を視察して参りました。

また、昨年11月には、東京で開催された「第62回町村議會議長全国大会」においては、地方自治体や議会在が抱える重要問題を提起し、町村財政の確立強化、地方創生の更なる促進、議会の

活性化など国に對して強く要請したところ。議会として、人口減少・少子高齢化が進行する現実に正面から向き合い、町民の幸せな生活を守るため、議員一同町民代表である役割と責任をしっかりと自覚し、皆様のご期待にこたえるよう全力を尽くして参りますので、ご支援、ご指導を賜りますよう心からお願ひ申し上げます。

本年5月には、「平成」から新年号に移行し、新しい時代の始まりを予感させます。この新しい年が皆様にとって実り多い年となりますことをご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。



## 謹んで新年のご祝詞を申し上げます

中泊町副町長 横野 彰 吾  
中泊町教育委員会教育長 米 塚 鈴 子  
中泊町選挙管理委員会委員長 田 中 彰 一  
中泊町代表監査委員 葛 西 昭 文

中泊町固定資産評価 佐 藤 恭 一  
審査委員会委員長  
中泊町農業委員会会長 松 坂 龍 美  
中泊町消防団団長 長 利 司